



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5017 URL http://www.foc.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)柴生田 敦夫
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)祖父江 高明 (TEL)03(5462)7803
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	162,618	△23.2	4,528	—	5,495	—	4,266	—
2020年3月期第2四半期	211,805	△25.6	△5,730	—	△6,389	—	△5,726	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,040百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △6,457百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55 36	—
2020年3月期第2四半期	△74 31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	226,477	45,336	19.9
2020年3月期	245,504	41,297	16.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 45,178百万円 2020年3月期 41,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2021年3月期	—	0 00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、2021年3月期の期末配当は未定とします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,700	△27.2	4,800	—	6,100	—	4,900	—	63.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	78,183,677株	2020年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,121,198株	2020年3月期	1,121,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	77,062,479株	2020年3月期2Q	77,062,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2020年11月18日から一定期間、決算説明会の動画を当社ホームページ上で配信する予定です。この動画内で使用する決算説明資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり21ドル台で始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞等により、4月下旬には13ドル台まで下落しました。その後はOPECプラスによる協調減産合意や経済活動の再開等に伴う石油需給の引き締めへの期待等により、6月下旬には43ドル台まで上昇しました。7月以降は一時的に46ドル付近まで上昇する局面はあったものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う世界経済の停滞懸念等が上値を抑える展開となり概ね40ドル台前半での小幅な値動きで推移しました。この結果、期中平均は約37ドルとなりました。

一方、期初1ドル107円半ばで始まった為替相場は、一時的に米ドル需要が喚起されて109円台まで円安となる局面があったものの、その後のドルの流動性安定化に加え、7月には米中関係悪化懸念等を受けて104円台前半まで円高が進行しました。8月以降は一時的に107円付近まで円安が進んだものの、概ね円高基調で推移し、期末は105円台後半で終了しました。この結果、期中平均は106円台半ばとなりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、前年の小規模定期修理の影響解消等により、前年同期に比して160千キロリットル増の3,297千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、172千キロリットル増の3,450千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前期の小規模定期修理の影響解消により販売数量は増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大による需要減退に加え、原油価格が低位で推移したことを受けて販売価格が下落したことにより前年同期比491億円減収の1,626億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法および簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）が47億円の原価押し下げ要因（前年同期は12億円の原価押し上げ要因）となったことに加え、定修影響の解消等により、営業利益45億円（前年同期比102億円増益）となりました。経常利益は54億円（前年同期比118億円増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は42億円（前年同期比99億円増益）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業損失相当額は1億円（前年同期比43億円改善）、経常利益相当額は7億円（前年同期比59億円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ190億円減少の1,063億円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少112億円、受取手形及び売掛金の減少44億円、現金及び預金の減少16億円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ0億円減少の1,201億円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具の減少19億円、投資有価証券の増加15億円、建設仮勘定の増加8億円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ210億円減少の1,306億円となりました。主な要因は、短期借入金の減少166億円、未払金の減少33億円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ19億円減少の504億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少38億円、修繕引当金の増加13億円、繰延税金負債の増加4億円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ40億円増加の453億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加91億円、資本剰余金の減少49億円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して11億円減少し、93億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、売上債権の減少83億円、未払揮発油税の増加43億円等による収入が、仕入債務の減少73億円等による支出を上回ったことにより、キャッシュ・フローは31億円の収入となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においても、たな卸資産の減少112億円、税金等調整前四半期純利益54億円等により、キャッシュ・フローは221億円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得21億円等により、キャッシュ・フローは16億円の支出となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においても、有形固定資産の取得15億円等により、キャッシュ・フローは13億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、長期借入金の純減少45億円等により、キャッシュ・フローは7億円の支出となりました。一方、当第2四半期連結累計期間においても、短期借入金の純減少166億円等により、キャッシュ・フローは219億円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月11日の「2021年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は様々な要因により予想値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,769	11,151
受取手形及び売掛金	40,302	35,852
有価証券	-	200
たな卸資産	68,346	57,098
未収入金	1,212	842
その他	2,753	1,228
流動資産合計	125,384	106,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,791	13,575
油槽（純額）	3,468	3,291
機械装置及び運搬具（純額）	31,401	29,453
土地	51,668	51,668
建設仮勘定	847	1,721
その他（純額）	613	622
有形固定資産合計	101,791	100,333
無形固定資産		
ソフトウェア	616	655
その他	132	132
無形固定資産合計	749	788
投資その他の資産		
投資有価証券	16,490	18,053
長期貸付金	756	756
退職給付に係る資産	12	-
その他	729	580
貸倒引当金	△410	△409
投資その他の資産合計	17,579	18,982
固定資産合計	120,119	120,104
資産合計	245,504	226,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,686	14,303
短期借入金	83,953	67,318
1年内返済予定の長期借入金	9,463	8,414
未払金	18,149	14,842
未払揮発油税	18,939	22,119
未払法人税等	90	952
その他	7,510	2,748
流動負債合計	151,795	130,699
固定負債		
長期借入金	33,622	29,741
繰延税金負債	9,002	9,448
特別修繕引当金	2,342	2,340
修繕引当金	4,578	5,952
退職給付に係る負債	2,397	2,387
役員退職慰労引当金	11	12
その他	457	560
固定負債合計	52,412	50,441
負債合計	204,207	181,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	30,396	25,495
利益剰余金	△9,886	△718
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	43,546	47,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	59
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	△2,103	△2,414
退職給付に係る調整累計額	△299	△280
その他の包括利益累計額合計	△2,393	△2,633
非支配株主持分	144	157
純資産合計	41,297	45,336
負債純資産合計	245,504	226,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	211,805	162,618
売上原価	215,385	155,885
売上総利益又は売上総損失(△)	△3,580	6,733
販売費及び一般管理費	2,150	2,205
営業利益又は営業損失(△)	△5,730	4,528
営業外収益		
受取利息	54	32
受取配当金	191	18
為替差益	655	34
持分法による投資利益	206	1,776
タンク賃貸料	105	105
その他	117	190
営業外収益合計	1,330	2,158
営業外費用		
支払利息	1,350	740
タンク賃借料	116	107
その他	523	342
営業外費用合計	1,989	1,190
経常利益又は経常損失(△)	△6,389	5,495
特別利益		
固定資産売却益	4	0
受取保険金	1,024	-
特別利益合計	1,029	0
特別損失		
固定資産除却損	58	4
特別損失合計	58	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,419	5,491
法人税、住民税及び事業税	△8	776
法人税等調整額	301	434
法人税等合計	292	1,210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,711	4,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,726	4,266

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,711	4,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△246	51
為替換算調整勘定	△105	△63
退職給付に係る調整額	△1	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△391	△246
その他の包括利益合計	△746	△240
四半期包括利益	△6,457	4,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,473	4,025
非支配株主に係る四半期包括利益	15	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,419	5,491
減価償却費	3,243	3,271
修繕引当金の増減額(△は減少)	△821	1,374
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	22
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	55	△2
受取利息及び受取配当金	△245	△51
支払利息	1,350	740
持分法による投資損益(△は益)	△206	△1,776
為替差損益(△は益)	332	49
売上債権の増減額(△は増加)	8,390	4,449
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,876	11,247
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,319	616
未払揮発油税の増減額(△は減少)	4,338	3,179
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,804	1,812
その他	1,267	△8,482
小計	5,026	21,942
利息及び配当金の受取額	466	51
利息の支払額	△1,488	△790
法人税等の支払額	△906	△64
法人税等の還付額	7	1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,105	22,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	502	251
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△2,154	△1,574
有形固定資産の売却による収入	4	0
無形固定資産の取得による支出	△21	△23
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△17	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,686	△1,356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,059	△16,685
長期借入れによる収入	1,500	-
長期借入金の返済による支出	△6,005	△4,930
配当金の支払額	△772	-
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△521	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△742	△21,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	△139	△80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	537	△1,167
現金及び現金同等物の期首残高	9,383	10,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,921	9,306

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響について)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景とする需要減少の影響を受け、2021年3月期にわたって機械装置の稼働率が低下するとの仮定に基づき、固定資産の減損認識の要否の判定や繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っています。